

令和 7 年度 8 月期 GSS 活動報告（栗駒山地）

岩手南部森林管理署

栗駒山（須川岳）における、令和 7 年 8 月期の森林保護員（通称：グリーン・サポート・スタッフ（GSS））による保全活動について、以下のとおりご報告します。

9 月に入り、日ごとの寒暖差が激しくなっています。残暑の厳しい日は熱中症に、雨風の強い日には低体温症に注意が必要です。登山される方は、事前に天気予報を確認した上で臨機応変に準備していただき、栗駒山地の自然環境を満喫していただくようお願いします。



○8 月の天候

8 月となり、夏真っただ中となりました。標高約 1,120m の須川高原でも晴れ渡った日にはジリジリと日差しが照り付け、昨今の猛暑の影響を感じる日々が続きました。また、7 月に引き続き須川では雨天の日が少なく、湿原の干上がり、沢の水量低下が目立つ月となりました。秋の紅葉に悪く影響しないよう祈るばかりです。

○須川の沢

水不足が深刻な今年の夏。須川から栗駒山山頂に登る登山道（産沼コース）でも水不足の影響を感じる場所があります。須川から栗駒山頂を目指す際に渡渉する 2 つの沢、「ゼッタ沢」と「三途の川」です。2 つの沢の水位は今年、例年に比べかなり低くなっています。

上記 2 つの沢ですが、「沢の石や川底が赤茶色をしている」という特徴があり、登山している方にもよく理由を聞かれます。この赤茶色は、主に鉄分に由来するもので、酸化した鉄分（赤錆）が河原の石に付着したことにより発生しています。

活火山である栗駒山では、火山活動により鉄イオンをはじめとする金属イオンを含んだ水が各所で生成されています。発生する金属イオンのうち一部のイオンには人体に有害な影響

を与えるものもあり、有害な金属イオンを含んだ沢水を飲むと体調を崩す可能性があるので注意が必要です（「三途の川」の名前の由来は、人体に有害な須川の水を飲み倒れた人がいるという伝承によるものです）。炎天下の登山で、登山中に水が尽きてしまった際、安易に沢水を飲むことは大変危険ですので、くれぐれも水場以外の場所での飲水は控えるようにしてください。



赤い沢

〔沢水中の鉄イオンが空気中の酸素と反応し、赤茶色の酸化鉄を形成して、石に付着した現象〕



かなけみず
金気水

〔鉄バクテリアと呼ばれる微生物の活動により、たまり水の表面に鉄の酸化被膜が形成された現象〕

○枯れた灌木たち

水不足が目立った今年の夏、須川周辺の灌木には葉っぱの枯れが目立ちました。植物は自らが生きていくために、光合成（デンプンなどの養分を作る）や蒸散（植物内における水の循環促進や体温調整）などの活動を葉っぱを通して行いますが、これらの活動には多くの水分を必要とします。水不足が発生すると緊急事態となり、本来行うべき水を用いた上記の活動をストップしなくてはなりません。植物はこれらの活動をストップさせるため、活動の要となる葉っぱを落とし省エネモードへと入り、体内へ水分を蓄えようとします。今年の水不足で須川周辺の一部の木々が枯れてしまったのにはこのような理由があるのではないかと考えています。木全体として枯れているわけではないので、雨水が回復してきた8月後半には再び新芽が顔を出していました。木々の生存戦略を感じさせられます。



水不足で枯れてしまったミネカエデ



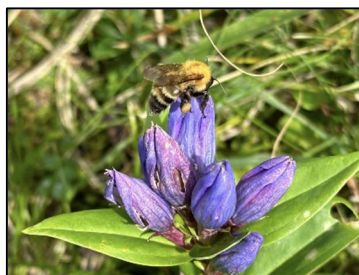
枯れ枝の脇から再び生えてきた若葉

○植生の状況

8月になり、須川の花のピークは終わりを迎えました。緑が目立つ季節となりましたが、緑の中に咲く花々を見つけた時の喜びはひとしおです。ヨツバヒヨドリ、オヤマリンドウ、キンコウカをはじめ、アオヤギソウ、チョウジギク、ミヤマホツツジなども目立ちます。花たちは産沼～笹森避難小屋方面の区間と磐井川源流付近で特に多くみられました。



ヨツバヒヨドリとクジャクチョウ



オヤマリンドウとマルハナバチ



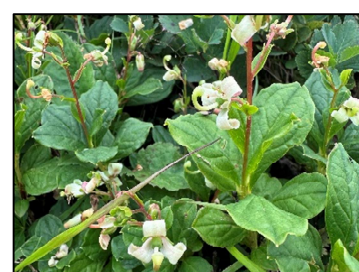
キンコウカ



アオヤギソウ



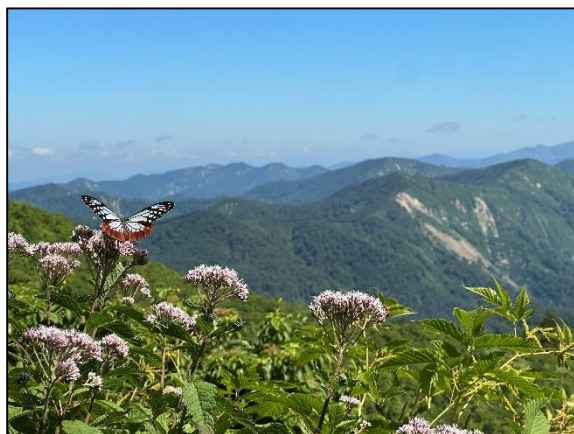
チョウジギク



ミヤマホツツジ

○アサギマダラとヨツバヒヨドリ

8月の須川では、ヨツバヒヨドリと呼ばれるピンク色の花が咲き乱れます。このヨツバヒヨドリの周りを飛び回る、青と黒のまだら模様をしたチョウがいます。アサギマダラというこのチョウは、ヨツバヒヨドリの蜜を好んで吸うことで有名です。アサギマダラは、ヨツバヒヨドリの蜜を吸うことで、ヨツバヒヨドリに含まれる「アルカロイド」と呼ばれる毒素を体内に取り入れているそう。これにより鳥などの天敵から身を守っているようです。



奥羽山脈とアサギマダラ



3匹同時集合

○保全活動の実施状況

登山者より、笹森コース方面の水場が出ていないとの情報を頂いたため、水場の確認に向かいました。水不足で水量が少なかったことが原因でした。少ない水量に合わせ取水口周辺を整備することで再度水が出るようになりました。

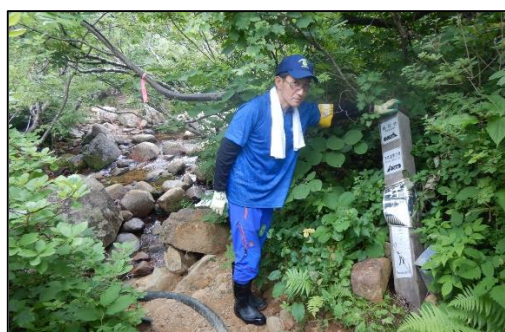
三途の川手前の標柱が倒れていたのを立て直しました。場所名の表記が消えていたため、新しいものに付け替えました。



出なくなった水場の整備



水場の復活



倒れた状態の看板標識



看板を立て直し、名前プレートの取り付け

8月もパトロール中多くの登山客にお会いすることができました。地元の方、関東からの方、外国人の方など幅広い地域から須川に来ていただきました。気温が高く暑い時期で、登山者さんの中には暑さに負け途中で撤退するとお話されている方もいました。体力的に厳しいと感じた時には、無理せず途中で引き返す勇気も大切です。今月も昨月に引き続き熱中症の注意喚起を行うとともに、登山道の異常・植物の盗掘などないかについて聞き取りを実施しました。また、植生保護・ゴミの持ち帰りをお願いするカードを配布しました。

